

立命館アジア太平洋大学の

ファカルティ・ディベロップメント (FD) の概要

【グローバル教職員開発インスティテュート (IPG)】

グローバル教職員開発インスティテュート (IPG) は、これまで学内において実施してきた様々な FD/SD 活動を包括的かつ体系的に実施し、「Global Learning の実現」をはじめとした、全学的取組を推進する上で必要となる教職員の連携強化と協働力の醸成を目的として設置されました。高等教育の更なる発展に寄与する「アジア太平洋地域における FD/SD 活動のハブ」となることも活動目標の一つとし、学外にもその取組の一部を他大学教職員に開放します。

【ミネソタ大学と APU との連携 FD プログラム】

圧倒的な多国籍・多文化の環境を活かし、学生の学び・学び合いを最大限に引き出すことができる教育、“Global Learning”の実現を目指しています。2013 年度より、教育の担い手である教員のトレーニングとして、米国ミネソタ州にあるミネソタ大学と APU との連携 FD プログラムを実施しており、2023 年度までに 63 名の教員が参加しています。(プログラム期間約 1 年/毎年 5～6 名程度参加)。2030 年までにほぼ全ての教員が新しい教育方法を身に付けることを目指します。

プログラム紹介

<https://www.apu.ac.jp/home/gallery/article/?storyid=196>

【授業の質向上に向けた実践インタビュー記事】

授業の質向上に向けた実践インタビュー記事を学内限定 HP に掲載しています。

【上記以外】

上記以外に、グローバル教職員開発インスティテュート (IPG) が主催したこれまでのイベントのデータや、現在、参加を募集しているイベントを学内限定 HP に掲載・案内しています。

i *FD=Faculty Development (教員が授業内容・方法を改善し、教育の質を向上させるための組織的な取り組みの総称)